

「令和3年度地域交通検討調査業務委託」公募型プロポーザルにおける質問・回答

※質問内容は、原文のまま掲載しています。

1 業者選定の手続きについて

対象項目	質問NO.	質問内容	回答内容
提案書	1	提案書の項目【業務実施体制】(3)業務責任者の平成28年度以降の同種又は類似業務の実績調書(様式-3)の「同種または類似業務」について、同種・類似の定義は、「デマンド型交通に関する計画検討業務」という認識でよろしいでしょうか。	デマンド型交通に関する計画検討業務も同種、類似の業務となるほか、本件業務には地域交通のあり方も検討することから、地域公共交通計画策定等の交通計画に関する業務も同種、類似の業務になります。
〃	2	技術提案の特定テーマは業務内容の一つでしょうか。	提案者の本業務の考え方や方向性を確認させていただきます。特定テーマに係る提案については、基本的な考え方、方向性をお答えください。例えば、一例をあげて、それを例に考え方、方向性をお答えいただくことも可能です。

2 契約後の業務内容について

対象項目	質問NO.	質問内容	回答内容
業務内容①②	3	委託者による有識者の指名はあるのでしょうか。	・現時点では、委託者側で有識者の選定は行っておりません。 ・受注者の知見に基づいて有識者を提案いただき、委託者と協議の上、設定します。
業務内容①	4	(ア)社会的必要性の分類についてアンケート調査は、必須でしょうか	・アンケート調査は必須ではありません。利用者ニーズや利用者動向を踏まえた検討が可能であれば問題ありません。
〃	5	(ア)社会的必要性の分類について「交通事業者が実施するアンケート調査」について、アンケート調査の内容(調査日・調査対象・調査票など)についてご教示頂けないでしょうか？	・連携可能なデータ類については、本件受注者決定後に現在実施中の社会実験の結果も含めて共有させていただきます。
〃	6	(ア)社会的必要性の分類について令和3年3月30日より開始された「AIオンデマンド交通」の社会実験の利用者実績等のデータについて提案書作成前に提供いただくことは可能ですでしょうか。	・受注者決定後になります。
〃	7	「地域公共交通会議(2回程度)」について、開催時期のおおよその予定はありますでしょうか？また、各回で想定している議題などがありましたらご教示下さい。	・現在、Osaka Metro Groupが実施しているAIオンデマンド交通の社会実験は実験期間1年間をいくつかのフェーズに分けて実施していますので、フェーズの進捗に合わせて、適時、会議に諮る予定です。
業務内容②	8	(ア)2025年からむこう5年程度を見据えた地域交通のあり方について、地域交通の範囲とは、どこまでを想定しているのでしょうか。	・大阪市域すべての旅客運送サービスを想定しています。
〃	9	この業務で検討対象としている交通モードの範囲を教えてください。	・本業務で検討する地域交通の種類は、鉄軌道、BRT、路線バス、デマンド型交通及びタクシーを例示していますが、業務の想定を2025年から向こう5年程度としていることから、今後、実用化されるものを含めて想定してください。
〃	10	昨年度業務の成果物は、いつ見せてもらえますか。	・受注者決定後になります。
〃	11	「関係者からの意見聴取等(①(エ)と合わせて3回程度)を行う」について、委員謝金を経費(契約金額)に含みますでしょうか。	・関係者からの意見聴取する際の有識者等への報酬等は、契約金額に含まれません。